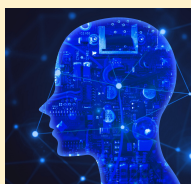


J&I (Japan&India)AI研修プログラム



AI人材育成のための画期的研修プログラム

今、日本で圧倒的に不足しているAI人材。

本プログラムは、基礎理論を習得し、さらに実例を多用した実践演習を重ねることで、実際の業務にすぐ展開できるAI応用スキルを身につけられます！

参加対象者

業種問わず、ビックデータを保有し、それを活用、あるいは活用しようとしている企業の方。

必要スキル: 高校数Ⅲ程度の数学理解度があれば可。

プログラムの特徴

1. 日本でAIに関する基礎的理論をしっかり学び、さらにインドでハンズオン、ミニプロジェクト中心の実践的研修を集中して行うことで、短期間で実用レベルのAIスキルを身につけられる。
2. AI先進国のインドで実用化が進むAI技術を直接体験できる。

プログラムの構成(詳細:裏面)

1. 国内研修: AI・IoT基礎研修及び機械学習実習: 6日間(32時間) 2019年10月

(1) AI及びIoTの基礎的理論を実習も交えて理解する。

(2) 基礎を身につける事で、インドでの研修をより効率的に効果的なものにする。

講師



長橋 賢吾: フューチャーブリッジパートナーズ(株)代表取締役、(株)アブリックス代表取締役。慶應義塾大学環境情報学部卒業。同大学院政策・メディア研究科修了、東京大学大学院情報理工学系研究科修了。博士(情報理工学)。英国ケンブリッジ大学コンピュータ研究所訪問研究員。2014年12月よりインプレス(株)と共催で「データサイエンス基礎講座」を実施、著書: 「ビックデータ戦略」「図解スマートフォンビジネスモデル」「Rではじめる機械学習」他多数。

2. インド(ブネ市)研修: 実践的ハンズオン・ミニプロジェクト研修: 4週間(160時間) 2019年11月

(1) 前半2週間: ハンズオン中心で行い、実践的なAI技術を習得

実習中、AI講師、PhD学生がアドバイス 豊富な実例を用意し様々な異なるケースを演習

(2) 後半2週間: ミニプロジェクトを通じてAI開発における基本フローを体験

参加者の興味に基づきテーマを設定。前半で学んだスキルを活用しインド人スタッフと共同開発

研修会場: シンビオシス工科大学 AI応用研究所 (インド: ブネ市)

(Symbiosis Center for Applied AI / Symbiosis Institute of Technology)



プログラム監修



Dr. Ketan V Kotecha

シンビオシス工科大学理事
兼エンジニアリング学部学部長
AI応用研究所所長

IIT-Bombay (Indian Institute of Technology, Bombay)にて博士号。インドのAI研究の第一人者。Royal Academy of Engineers UKからの支援を受け、インドのAI人材教育を主導。Symbiosis Center for Entrepreneurship and Innovationにおいて、AI関連スタートアップ企業のインキュベーションにも取り組んでいる。

講師



Dr. Rahee Amit Walambe

シンビオシス工科大学
電気・通信学科 准教授

英国Lancaster Universityにて博士号を修める。ロボティクス、センサー、車載用デバイスのAI応用研究が専門。インドのビジネスパーソンや教育者向けのAI研修講師として豊富な指導経験を持つ。日本人向けの本AI研修でのメイン講師を務める。

国内研修:AI・IoT基礎研修及び機械学習実習内容(下記6講義 日程調整中)

講義	時間	トピック	会場
1	14:00～19:00	統計入門	中央大学 駿河台記念館 〒101-0062 東京都千代田区 神田駿河台3丁目 11-5 03-3292-3111
2	14:00～20:00	AI機械学習入門	
3	14:00～20:00	AI機械学習入門 & Pythonの基礎	
4	14:00～19:00	Pythonの基礎 & 機械学習実習	
5	14:00～19:00	実習プレゼン	
6	14:00～19:00	IoT入門	

インド(プネ市)研修:実践的ハンズオン・ミニプロジェクト研修スケジュール

項目	トピック	週
AI	■機械学習(マシンラーニングMachine Learning) 機械学習、数学、k近傍法(KNN)、k平均法(K-means)、Artificial Neural Network(NN)、Support Vector Machine(SVM)、Principal Component Analysis(PCA)を学び、ハンズオン(Hands-on)でのコーディング主体でマシンラーニングを習得します。	W1
	■深層学習(ディープラーニングDeep Learning) 畳み込みニューラルネットワーク(CNN)、再帰的構造を持つニューラルネットワーク(RNN)、Generative Adversarial Networks(GANs)を学び、ハンズオン(Hands-on)でのコーディング主体とミニプロジェクトによる総合演習で深層学習を習得します。	W2
	■Project on Real-World Problem 1週目と2週目に学んだテクニックを使用して、インド人 PhD 学生やインドのビジネスパーソンとの共同作業により、実際のAIアプリケーション開発にチャレンジします。	W3
	■プロジェクトの完成とプレゼンテーション ワークショップで実施したプロジェクトについての発表。 アイデア、新しい学習の概念、困り課題などについての意見交換を行い、研修参加者相互に学び合います	W4
IoT	IoTとアーキテクチャ、IoT用通信プロトコル、IoTケーススタディ	

ビジネスパーソンや先端技術研究者を研修会場に招いてのインタラクション
インドのAIベンダーやAIユーザーの企業訪問会社
研修会場には最新のGPUマシンも設置
日本語コーディネーターによる研修会場での通訳のサポート

※なぜインドか？

AI開発・実用化において突出しているのは、アメリカ、中国の両国であるが、インドはその3番手に位置しており、AI先進国の一角を担っている。
人口13億を背景に大量のビッグデータが存在、国をあげてAI活用を力を入れており、そのビッグデータを活用しやすい環境にある。

国/地域別キーワードヒット論文シェア(2013年～2018年)AI 白書2019

順位	全体		機械学習 ニューラルネットワーク		自然言語処理		画像認識		音声認識		ロボティクス	
1	中国	24.2%	中国	23.7%	米国	23.3%	中国	27.0%	米国	24.3%	中国	15.0%
2	米国	16.1%	米国	22.4%	中国	14.1%	米国	21.5%	中国	13.3%	米国	14.9%
3	インド	8.1%	インド	7.7%	インド	8.5%	インド	5.9%	インド	7.9%	独国	8.2%
4	英国	5.0%	英国	5.8%	英国	5.4%	英国	5.5%	日本	7.7%	日本	8.2%
5	独国	4.9%	独国	4.5%	スペイン	5.2%	独国	4.6%	独国	6.6%	仏国	5.1%
6	日本	4.7%	日本	4.0%	イタリア	4.5%	スペイン	4.5%	英国	5.7%	イタリア	5.0%
7	仏国	4.3%	カナダ	3.7%	独国	4.4%	オーストラリア	4.4%	仏国	4.8%	英国	5.0%
8	スペイン	4.0%	スペイン	3.7%	仏国	4.1%	仏国	4.1%	スペイン	3.9%	韓国	4.6%
9	イタリア	3.5%	オーストラリア	3.6%	日本	3.7%	イタリア	3.9%	イタリア	3.4%	スペイン	4.0%
10	カナダ	3.1%	仏国	3.2%	カナダ	3.4%	日本	3.7%	シンガポール	2.8%	インド	3.8%

価格(消費税含まず)

日本+インド研修セット価格 : 150万円
インド研修のみ : 98万円
日本研修のみ : 52万円

インド研修費用に含まれるもの:
受講料、受講中の通訳補助、滞在費(空港送迎、宿泊、週末を除く朝食・昼食、
回の夕食/weekdays、宿舎⇄教室バス移動)
渡航費は、含みません。
日本研修に含まれるもの:教材費、受講料
※研修中に使用するPCは各自でご用意下さい。

代理店



テクノブレイン株式会社
〒141-0022
東京都品川区東五反田1-13-12いちご五反田ビル5F
フリーダイヤル: 0120-136-160
担当: 山内
m-yamauchi@techno-brain.co.jp

企画・主催



株式会社ソフトブリッジグローバルスタディーズ
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-18-21楽器会館601
TEL: 03-6206-0644 www.softbridge.co